

発行：ACT-B（アクト・ビー）

茅野市民館指定管理者

株式会社地域文化創造



市民主体の舞台 創作がスタート

ばら通信 創刊号

ばらのおはなし（仮題）

始まるまえのおはなし

5人は2012年度の「ステージづくり応援部」※1で知り合った仲間。ダンス&コント公演※2の企画制作を手掛けたのですが、実はそのとき、「自分たちでお芝居をつくる」案もあがっていて、最後まで迷いに迷ったのです！

公演は成功！「次は…自分たちでやってみたいわ」という5人の目に飛び込んできたのは《茅野市民館 2014年度主催事業の提案募集》※3。「…やるか!」、というわけで、『星の王子さま』を題材にした舞台創作・上演に関する提案をそれぞれ提出しました。

主催事業の検討がすすむなか※4、「応援部」から「ステージづくり部」※5にパワーアップした2013年度、参加者が創作、出演する演劇公演※6に挑戦。「みんなでつくる」体験をしました。

「市民館でステージづくりを学び、体験してきた仲間が、市民館で自分たちの舞台表現をつくる。」トントントン!…というわけで、5人の提案を取り入れ、2014年度の主催事業化が決まりました。〈なにを〉つくるのか。〈どうして〉つくりたいのか。言葉ではうまく言えない「思い」を、イチから形にするスタートラインに立ったのです。
〈次号「大人の部活? 怒涛のミーティング!」(仮)へ、続く…〉

※1 茅野市民館2012年度主催事業「ステージづくり応援部」

※2 舞踊 GUYDANCE が茅野にやってきた。(2013.1/27)

※3 「茅野市民館主催事業の市民提案」地域に暮らす皆さんの文化への思いや表現への興味を、皆さんとともに主催事業として実現するための毎年募集しています！

※4 事業企画会議

※5 茅野市民館2013年度主催事業「ステージづくり部 活動中!」

※6 「ステージづくり部 活動中!」やってみよう! 編 実演「ヨル / オハナシ」(2013.11/4)

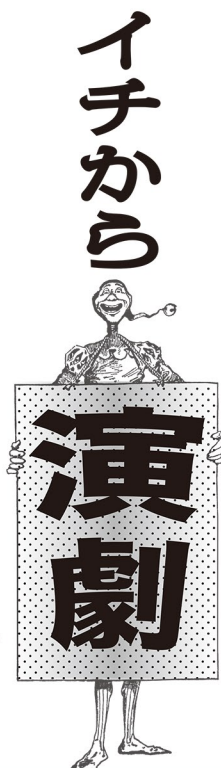
茅野市民館をステージに、「市民主体の舞台創作・上演」の取り組みが、今年2014年5月から始まりました。市民5人の発起人を中心に、演劇／パフォーミングスの舞台を想定。来年1月の上演を目指して、今は週1回のミーティングで、脚本づくりと、共通のイメージを共有する作業を進めています。

創作のモチーフは、サン・テグジュペリの小説『星の王子さま』。そのオリジナル作品として『ばらのおはなし』と仮のタイトルをつけ、それぞれに思い描くテーマを共有しながら、舞台のもととなる脚本づくりから始めよう、定期的に顔を合わせ、ミーティングとクリエーションを重ねています。



プロダクション・ミーティングで事業がスタート!
(5月12日市民館事務局)

つくります!



動向

目指すは「ばら」の
小惑星、トワロの
事象のレール…
終焉のクリエーション!!

その六	その五	その四	その三	その二	その一
六月二十三日(月)	六月十六日(月)	六月六日(月)	六月二日(月)	五月二十六日(月)	五月十六日(月)

プロダクション・ミーティング
五月十二日(月)
ミーティング&クリエーション

ちる日のクリエーション



五月二十六日
それぞれが書
いてきた脚本
読みの合間に
作品のイメージ
を色紙を使っ
て表現してみ
ました。言葉
だけではない
イメージの表
出です。

